

第161回 汽水域懇談会

バイオマーカーによる陸域の環境変動復元

参加希望者は以下に登録をお願いします。(2/7(火)正午締切)

<https://www.leaf2.shimane-u.ac.jp/enquete/no/kisui161>

日時:2023年 2月9日(木) 16:30=17:00-17:00-17:30

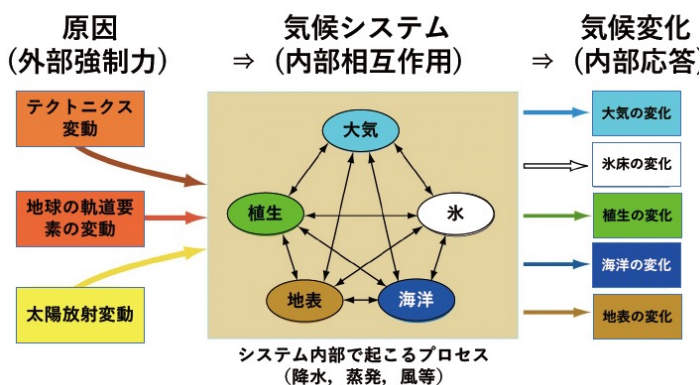
場所:ハイブリッド開催(16:00 16:30からzoomを開設)
 (センター 2階セミナー室とzoomを併用)

関 宰 (博士・地球環境科学)
 (北海道大学低温科学研究所・准教授)

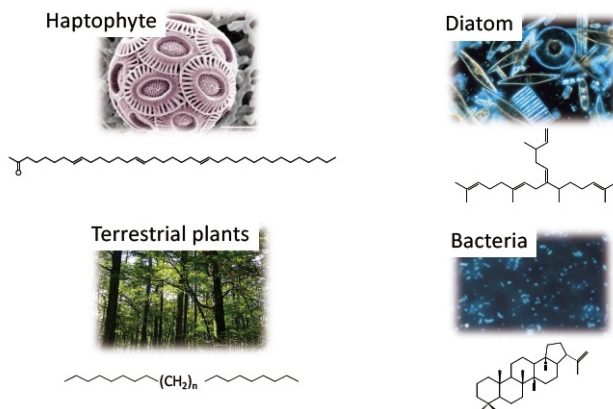
【講演概要】

気候システムはいくつかの要素(大気・海洋・地表・植生・雪氷など)で構成されており、これらの要素は複雑に相互作用している。このシステムへの気候強制力の入力に変化した時に、個々の要素自体と要素間の相互作用の仕方が変化し、気候が別の状態に変化すると考えられている。気候変動のからくりを解明するには、気候システムを構成する個々の要素の相互作用の仕方を深く理解する必要があるが、そのためには、世界各地の気候・環境変動を復元した上で、復元データの総合的な解析が求められる。このような統合的な解析に取り組む上で、バイオマーカーは最も優れたツールの1つと考えられる。バイオマーカーには起源特異性を持つものが数多く存在し、様々なアーカイブに適用可能であることから、陸域・大気・海洋における様々な環境情報や、地球表層における物質循環など多種多様な環境情報を解読することが可能である。本講演では、これまで講演者が取り組んできた研究成果の中で特に陸域の気候・環境復元に焦点を絞り、陸域の古気候・気候システム研究におけるバイオマーカーの有用性と、気候システム全体の理解に向けたこれからの研究の展望を述べる予定である。

地球の気候システム



Biomarkers



お問い合わせ: 島根大学 研究・学術情報機構 Esチュアリー研究センター
 香月 興太 TEL 0852-32-9812